

伊良湖開拓地海岸防災林



愛知県

- 所在地／田原市伊良湖町飛越ほか
- 規模／幅 0.3～0.7km、長さ 11km、面積 443ha、樹齢 30～60年
- 指定／渥美半島県立自然公園（一部）、三河湾国定公園第2種特別地域、同普通地域（一部）、飛砂防備保安林
- 問合せ／田原市経済部農政課畜水産係 電話 0531-23-3517



立地環境

渥美半島の先端にある伊勢湾から三河湾にかけての松林中、海岸は「西ノ浜」と呼ばれています。

松原の
今昔物語延長 11km の「西ノ浜」に続く
海岸防災林

伊良湖開拓地海岸防災林は、その昔、旧日本陸軍の伊良湖試験場（通称：伊良湖射場）があったところです。

昭和7年からはじめられた海岸防災対策事業は、戦後の射場解放を契機として昭和25年より本格的に事業が行われ、昭和38年までの間に総延長11kmの砂浜に松が植林され、現在にいたっています。その樹齢は、自然林も含めると約30～60年ほどですが、海から吹きつける潮風と砂地であるために樹高が伸びず、海岸の堤防から樹海が見渡せません。

この海岸防災林は、とくに季節風が激しい冬季の飛砂・潮害を防ぐのにおおいに役立っています。また、こうした松林が整備されたことにより、内陸の農地は守られ、林の中に数々の保養所なども建設され、人々の憩いの場所となっています。



COLUMN

伊良湖開拓地海岸防災林のある西ノ浜は、絶滅危惧植物をはじめ、多くの海浜植物を見ることができます。また、西ノ浜の松林の中には、古墳時代の藤原古墳群をはじめ、古代の塩づくりが行われた製塩遺跡群などが数多く残されています。平成3年には、この松林内に西ノ浜多目的保安林総合整備事業により「西ノ浜海浜の森」が整備され、園内には8基の彫刻作品をはじめとして、池・橋・東屋・遊具などが設置され、訪れる人たちに憩いの場を提供しています。

ACCESS

●電車やバスの場合

JR・名鉄豊橋駅から豊橋鉄道渥美線で三河田原駅下車、豊橋鉄道バス伊良湖本線「休暇村」経由「伊良湖岬」行きで30分、「休暇村」下車徒歩10分

●車の場合

国道259号線にて伊良湖岬方面へ、「休暇村伊良湖」付近
駐車場有り（「西ノ浜海浜の森」内）

